



2学期がスタートしました さらなる成長をめざす学期です

第7波の大きな波の中で迎えた2学期。学校が始まり、輝桜祭も控え、どうなっていくのか、心配はつきません。これまでやってきた対策を徹底する中で、仲間とともに学ぶ楽しさ、輝桜祭の感動、部活動での成長、そういったことを味わい、伸びていてもらいたいと願っています。始業式で3年生が語った言葉です。

「今の3年生は入学した時からコロナの影響で思うように部活ができませんでした。しかし、誰一人あきらめることなく、自分たちの目標を達成するために努力してきました。3年生にとって最後の大会である総体では、今までの自分たちの集大成を見ることができたと思います。部活で学んだことを、日常生活や高校入試の勉強などで活かしていきましょう。」

今の中学生は全員がコロナ禍の中学校生活しか知りません。そういう中でも、自分たちで対策を意識して、できることを精一杯取り組み、成し遂げてきた生徒たちは本当に素晴らしいと思います。思うようにできないことがあったとしても、それを乗り越える力をつけてきてくれているんだなあ、せつなさを感じながら頼もしくなります。2学期は大きな行事もあり、3年生は進路に向かっていく時期でもあり、2年生にとってはバトンを受け渡されていく時期でもあります。初めての行事に向かう1年生も成長できる時です。充実した学期にしていきたいと思います。

輝桜祭 テーマは「^{スター}★^{ボクら}星〜163の輝きは夢限大!!〜」

生徒会最大行事の輝桜祭まであと10日です。昨年の輝桜祭でも生徒たちの表現の豊かさには驚かされました。子どもたちはまさに「無限」の力を持っています。一人一人の個性の輝きと、1つになった時の圧倒的な力、いつも感動します。生徒会本部、実行委員会を中心に、各学年、各部門がそれぞれの色を輝かせながら、取り組みを始めています。

「学級」「学年」「全校」の力を伸ばし、団結を深める最も大事な行事です。それぞれでめざすべきものをきちんと意識して、何のためにあるのか頭において、各自が責任を果たしながら、その上でめいいっぱい楽しんでほしいです。

第7波の状況を考慮して、残念ながら今年も観客数を制限せざるを得ません。今後も陽性者が出ることもあるかもしれません。台風など気象状況もあります。状況をきちんと把握する中で、輝桜祭の予定も変更等が出てくることもあります。文書やメール等で連絡をいたしますので、ご確認ください。生徒にとって、身延中学校にとって大切な輝桜祭をなんとか無事成功させるため、どうか、ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

また、「アルミ缶回収」へのご協力ありがとうございます。多くの缶が集まっています。輝桜祭の生徒たちの頑張りを支えるため、あと少しのご協力をお願いします。





■ 県吹奏楽コンクール

吹奏楽 中学校B部門 **金賞** 「マザーマ～太平洋北西部の伝説～」

■ 県総合体育大会

野球 **優勝** ○4-2 若草 ○7-1 石和 ○4-3 韮崎西 決勝 ○4-1 玉穂・田富

男子バドミントン 団体 ●1-2 増穂

個人 ダブルス 竹ノ内利徠・深沢修平/樋川拓海・戸栗慶人 **ベスト8**

女子バドミントン 団体 ○2-0 道志 ●1-2 笛南

個人 シングルス 田中琉々 **ベスト8**

柔道 団体 ●1-4 忍野

男子ソフトテニス 団体 ○2-0 猿橋 ●1-2 吉田

体操 前澤颯志 個人総合 **3位** ゆか **3位** 鉄棒 **3位**

空手 形 吉中彪流 22.4 佐野幸斗 21.0 組手 吉中彪流/伊藤千叶 2 回戦進出

陸上 **女子共通** **200m** 田中琉々 31"85 **800m** 高野美波 2'53"83 **1500m** 津嶋優那 6'40"53

走高跳 磯邊侑里 1m35 **5位**

若草	1	0	0	0	0	1	0	2
身延	0	1	2	0	0	1	×	4

身延	0	0	0	1	4	1	1	7
石和	0	0	0	0	0	0	1	1

身延	0	0	1	0	2	1	0	4
韮西	0	0	0	0	0	1	2	3

玉田	0	0	0	0	1	0	0	1
身延	0	0	1	3	0	0	×	4

■ 関東大会

野球 ●2-5 小山第三 (栃木)

体操 前澤颯志 個人総合 **23位** (46名中)



■ 北麓カーニバル

↓愛媛で行われるジュニアオリンピックの大会に出場決定

陸上 **女子U16 円盤投** 望月美来 22m15 **1位**

小林結 18m35 **3位**

野球部 県総体優勝「全員野球で県制覇」

選手権大会でのドラマがつながっていると感じた大会でした。コロナ禍の中、多くの支えで乗り越えてつかんだベスト4、勝利に手を届けながら逆転負けを喫した準決勝。そういったものをすべて思いに込めて臨んだ最後の総体。特に関東出場なるかという準決勝の韮崎西中戦は手に汗握るところか、心臓の高鳴りが止まらない展開となりました。そこまでのいい流れで迎えた3点リードの最終回、ミスもあり満塁から2塁打をうたれ、1点差に。球数制限で先発の遠藤鉄心くんから替わったキャプテン天野陽敬くんがストレートの四球で2アウト満塁。しかし、この厳しい場面で、最後のバッターを見事三振に切って取りました。選手たちはもちろん、スタンドで祈るように見守っていた保護者も歓喜の瞬間でした。そして決勝も勝ち抜き、身延中学校にとって史上初の県優勝を勝ち取りました。「全員野球で県制覇」を掲げ、やり遂げた選手たちはもちろん、保護者の方を始め多くの方を含めた“全員”の力や思いの結集した優勝でした。

吹奏楽部 コンクール金賞 あと1点で西関東大会…となる素敵な演奏

輝煌際でも聴けるよ

引き込まれる演奏でした。演奏が始まると会場の空気が変わり、音楽の世界観に引き込まれる感じが伝わってきました。修学旅行中にも取り組む最上級生の姿があり、4月に始めたばかりの1年生も含めて、みんなの努力と思いの詰まった演奏でした。金賞はもちろん、西関東行けるかも…、と期待が膨らみましたが、惜しくも3位。しかも、あと1点で西関東という結果でした。悔しくもありますが、金賞は本当に見事でした。技術と表現の得点ともに満点をつけてくれる審査員もいるなど、身延中を1番につけてくれる方が他にもいて、専門家からも高く評価される演奏でした。審査員コメント→

「曲の特徴を捉えて世界観、雰囲気のある表現豊かな演奏でした。豊かなサウンド感で安定感のある素晴らしい演奏でした」
「メリハリのある音作りと音楽の組み立てが好印象でした」

「B.D. ((バスドラム 幸さん), Tom (タム 弥博さん) とっても上手! 音色も音のハリも good! 」

「美しい音、響きです。木管、金管のバランスも良いです。主部からのクラリネットソロ (響喜さん) が美しいです」

すべての部がみんな輝いていました まさに「星」★

バドミントン部は男女とも敗れた相手はともに関東大会に出場しました。もう少しでというところまで追い込みました。柔道も第1シードの選手相手にも対等に渡り合い、最後まで戦いました。たとえ、勝利はかなわなかったとしても、目標には届かなかったとしても、そこに向かって努力し、精一杯やったこと、負けて悔しかったこと、仲間と一緒に最後までプレーしたこと、それはきっと大きな力になり、心に残るものになります。校内の活動ではないですが、体操、空手、陸上とそれぞれが積み重ねてきた姿も素晴らしいかったです。みんなのプレーする姿はまさに「星」といえるものでした。